

平成 30 年度 研究計画書

Research Plan FY2018

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジア・アフリカ講座 助教
氏名 Name	仲尾周一郎
専門分野 Academic Field	言語学

平成 30 年度 研究計画（ホームページで公開） Research Plan FY2018 (Post on Website)

主たる研究テーマ Principal Research Subject	北東アフリカにおけるアラビア語の動態に関する研究				
研究計画（400 字～500 字で記入すること。） Research Plan (Approximately 100 Words) 中世以来のサブサハラ・アフリカにおいて、アラビア語は強い威信をもった言語としてアフリカ諸語の語彙・文法構造に多大な影響を与えてきたことがこれまでの実証的な言語接触研究によって明らかにされてきた。しかし、こと社会言語学的な主題に関する限り、アフリカにおけるアラビア語の動態は広範に議論されてきたとはいえない。これは、地域研究の枠組みとして、アラビア語研究は中東研究、アフリカ諸語研究はアフリカ研究の一分野と位置付けられてきたことに起因すると考えられる。 本年度は、主として北東アフリカ地域に焦点を絞りつつ、アラビア語とアフリカ諸語の相互的影響について、以下の言語学史的・言語学的・社会言語学的観点から調査・分析を行う。 (1) 北東アフリカにおけるアラビア語とアフリカ諸語の言語学的研究の伝統を批判的に捉え直し、これまでにどういった点でこれら二つの分野が相互に作用してきたか／してこなかったかを明らかにする。 (2) 北東アフリカにおける周縁的なアラビア語変種を積極的にテーマとして取り上げ、これらの変種を研究対象とすることの学術的（具体的には言語学的・社会言語学的）意義を明示的な形で公開する。					
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research *1	アフリカ 地域研究	アフリカ史			
キーワード Keywords*2	アラビア語	サブサハラ・ アフリカ	言語接触	ピジン・ クレオール	言語学史